

11/28 福地地区 平成29年度「市長と語る市政懇談会」意見・質問等一覧〔事前提出分〕

整理番号	事前意見・質問等（題名） 〔 〕内は意見等の提出があった小校区	（内容）	【回答】	担当課
1	福地地区のまちづくり 〔福地北部〕	<p>福地地区は、スーパーマーケットや工業団地が無く、買い物や仕事は地区外に出なければならず、活性化が望めます。 そこで、次の3点をお聞きします。</p> <p>【質問1】 市の都市づくり構想によれば、福地地区に新たな工業用地の計画的な整備が図示されていますが、現状はどうなっていますか。</p>	<p>福地地区では、現在、西尾市浄化センター近辺の長縄町周辺地区、愛中西尾地方卸売市場近辺の宅野島町周辺地区、憩の農園北側の須脇町周辺地区の3地区が「新たな工業用地の計画的な整備」が可能な地区に位置付けられています。 長縄町周辺地区と宅野島町周辺地区は、数社の企業に進出や拡張をしていただいております。今後も企業進出が見込まれます。須脇町周辺地区は、農業副都心構想を踏まえて位置付けしたものです。</p>	都市計画課 企業誘致課
		<p>【質問2】 農業副都心構想として、農産物直売所や道の駅の建設構想はありますか。</p>	<p>平成27年3月に策定した農業副都心構想整備計画では、農畜水産物直売所等の整備計画案は示しておりますが、道の駅の建設構想については示しておりません。 これまで市は、農業副都心構想の事業主体にはJA西三河がふさわしいと考えてJA西三河と協議を重ねてきましたが、未だ事業主体の決定には至っておりません。 今後、農業副都心という言葉を使うかどうかは別としまして、農水産業者が生産から加工・販売までを行う6次産業化の推進と、西尾市を代表する観光資源である憩の農園の活性化は必要であると考えておりますので、引き続き、JA西三河と話し合いを行ってまいります。</p>	企業誘致課
		<p>【質問3】 憩の農園は、新設道路で分断され、面積が現状の半分近くになるとお聞きしましたが、JA西三河と市によるさらなる活性化の計画はありますか。</p>	<p>憩の農園とバラ園の間を通ります新設道路・岡崎一色線の一部となる市道斉藤市子6号線は平成34年度中の開通を目指しており、これに伴い現状よりも面積は減少しますが、現状の半分近くになるということはありません。 なお、憩い農園の活性化は必要であると考えておりますので、今後もJA西三河と協議を続けてまいります。</p>	企業誘致課
2	福地駅周辺の活性化 〔福地南部〕	<p>【意見】 名鉄西尾・蒲郡線は、2020年度までの存続が合意されているものの、その後の確約が得られていません。名鉄西尾・蒲郡線活性化協議会による活性化計画の実施により、多少は改善されているものの、大きな改善効果はみられません。福地駅は、福地住民のみならず、一色地区住民にとっても重要な駅です。パークアンドライド、あるいは大規模住宅地開発といった駅周辺の開発による利用者の増加が必要と考えます。</p>	<p>名鉄西尾・蒲郡線の乗客数は、西尾・蒲郡線応援団をはじめとする関係団体の熱心な活動や、団体利用等の運賃補助もあり、平成19年度以降、増加傾向となっております。 福地駅周辺の開発ではありますが、この地区は市街化を抑制すべき区域である市街化調整区域であり、農用地を主とする土地利用が位置付けられておりますので、宅地開発などは難しい地区であります。また、市街化区域内には、現在、多くの低・未利用地がありますので、これらの土地について、有効な土地利用を図りたいと考えております。 なお、パークアンドライドにつきましては、まず駅周辺の状況調査を行い、その結果により今後の方針を定めたいと考えております。</p>	地域支援協働課 都市計画課

11/28 福地地区 平成29年度「市長と語る市政懇談会」意見・質問等一覧〔事前提出分〕

整理番号	事前意見・質問等（題名） 〔 〕内は意見等の提出があった小校区	（内容）	【回答】	担当課
3	小中学校のプールの廃止・統合 〔福地北部〕	<p>P F I 事業により福地中学校、福地南部小学校及び福地北部小学校のプールは順次廃止して寺津のプールを利用するようになるとお聞きしました。</p> <p>そこで、次の2点をお聞きします。</p> <p>【質問1】 寺津のプールを利用するためには、約850人の子どもたちを送迎しなければならず、とても不便だと思います。統合による経費削減のメリットはどれ程ですか。</p>	<p>市内の小中学校のプールは老朽化が進んでおり、今後10年間で耐用年数を迎えるプールが多く存在し、更新に莫大な経費が掛かります。</p> <p>このため、新たな維持管理の方針や学校プールの在り方を協議検討した結果、小学校では民間温水プール等を利用することに切り替え、自校プールは廃止し、中学校プールにつきましては、管理運営方法の検討をまいります。この方針は、P F I 事業として進めてきた寺津温水プール（仮称）を新設するか、否かに関わりなく、教育委員会として、市内全体の小中学校プールの在り方について示したものであり、今後、保護者の皆さまへ十分に説明してまいります。</p> <p>なお、これまでの小学校プールと今後の民間温水プールを利用した場合のメリット、デメリットの比較であります。学校プールの場合、小学校の都合に合わせて利用できることなどがメリットであり、逆に天候に左右されること、夏の期間のみの使用であります。年間を通じ、維持管理のコストが掛かることなどがデメリットであります。</p> <p>また、民間温水プールの場合、専門インストラクターのアドバイスが受けられること、天候に左右されないことなどがメリットであり、逆にプールへ行く時間が掛かることなどがデメリットであります。</p> <p>経費削減について、平均的な小学校の例で申し上げますと、これまでのように小学校プールを新規建設した場合は、50年間の維持管理費を併せて1校当たり平均で約660万円、次に民間温水プールを利用した場合は、プールの利用料や移動経費を年間利用回数と掛け合わせ算出しますと約340万円となり、これらを差し引きますと、コスト比較としましては、1校当たり平均で1年間約320万円のコスト削減ができると考えております。</p>	教育庶務課
		<p>【質問2】 小中学校のプールの水は、災害時に移動式浄化装置の使用により地区非常用飲料水としての使用が計画されていますが、今後はどのようにどれだけの非常用飲料水の確保を考えていますか。</p>	<p>中学校のプールについては、上記方針のとおり当面は使用することができます。仮に福地南部小学校及び福地北部小学校のプールが廃止されたとしても、非常用飲料水の確保手段として、福地中学校に100トンの飲料水兼用耐震性貯水槽を備えています。その他、配水池からの運搬給水と備蓄している保存水により非常用飲料水を確保することとしておりますので、プールの廃止による影響はないものと考えております。</p>	危機管理課
4	用水路（開水路）の維持管理に関する市の支援 〔福地北部〕	<p>【要望】 農業従事者の高齢化、耕作放棄地の増加及び農業用水のパイプライン化により、農業用水路や雨水路の除草や維持管理が年々困難になってきています。国・県・土地改良区の助成を受けて町内会、花と美土里の会、実行組合等の活動により行っていますが、豪雨時の排水対策として非常に重要であるため市として支援を考えていただけませんか。</p>	<p>西尾市全体では、多数の排水路があり、限られた予算内で市が全ての排水路の除草等を行うことは、非常に困難な状況であります。</p> <p>排水路は、農地からの排水とともに皆さまの家庭から出る生活排水（下水道が整備された区域については雨水）も流す役割を果たしており、排水路を利用するために必要とされる除草等の日常的な維持管理は、原則として地元の皆さまにお願いしておりますので、ご理解とご協力いただきますようお願いいたします。</p> <p>なお、花と美土里の会の活動については、国・県・市により助成をしております。</p>	土木課
		<p>【質問】 憩の農園周辺の水路の暗渠化を平成28年度に70m実施し、平成29年度に40m予定していますが、今後の水路の暗渠化計画はどのようになっていますか。</p>	<p>憩の農園南の水路につきましては、近接する都市計画道路岡崎一色線（市道斎藤市子6号線）の道路新設改良事業に伴う、排水先の整備をするものですが、地元町内会からの道路拡幅要望もあることから水路の暗渠化を合わせて実施するものです。</p> <p>昨年度、施工に着手し、本年度は、新設道路付近まで整備を進めてまいりますが、今後につきましては、新設道路の進捗に合わせ整備をしてまいります。</p>	土木課

11/28 福地地区 平成29年度「市長と語る市政懇談会」意見・質問等一覧〔事前提出分〕

整理番号	事前意見・質問等（題名） 〔 〕内は意見等の提出があった小校区	（内容）	【回答】	担当課
5	福地地区の下水道整備計画 〔福地南部〕	【質問】 西尾市公共下水道（污水）年次計画によると、福地地区は平成31年以降の整備予定となっていますが、見通しはどのようなようですか。	下水道の整備予定ではありますが、本年3月の西尾市行財政改革推進計画第5次実行計画で「市街化調整区域における下水道の整備計画を見直し、事業採算性が難しい地域については、事業を凍結する」という方針が市民の皆さまのパブリックコメントを経て決定いたしました。 下水道整備は公共事業ではありませんが、厳しい財政状況の中で、事業採算を考慮せずに進めるのも困難な状況です。 現在、事業採算性の調査・検討作業を行っており、有識者や市民の皆さままで組織する西尾市上下水道事業審議会に諮り、凍結区域を決定する予定です。凍結区域になった場合は、代替措置として、合併浄化槽転換への補助をして、汚水処理対策を進めてまいりたいと考えています。 いずれにしましても、結論が出た段階で説明をさせていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。	下水道整備課
6	地区内の道路改善及び新規道路の建設状況 〔福地南部〕	【要望】 県道312号（巨海－荻原線）は、地区内の東西交通に、また生活道路として重要ですが、行用町、八ヶ尻町、市子町、平口町の各町内で非常に狭く、高齢者等の歩行者が危険です。県に働きかけて、この道路の拡幅計画を推進していただけませんか。	愛知県では、要望路線であります県道荻原巨海線の代替路線として、東西方向に平行する都市計画道路徳永富田線の整備を計画しております。 現在は、市子町の県道豊田一色線交差部から平口町の平口1号線交差部までの区間において、用地の取得や測量調査設計などを進めております。そのため、西尾市としましても、現県道の拡幅よりもこの計画路線を整備することで、現道における通過車両の減少が見込まれ、通行の安全性向上が期待できると考えておりますので、西尾市が平成34年度完了を目標に整備を進めております市道齊藤市子6号線に合わせて、供用開始がなされるよう愛知県に要望してまいります。	土木課
		【質問】 岡崎一色線（齊藤－市子6号線）は、用地買収を進めていると思いますが、現状はどのようなようになっていますか。	この路線につきましては、市が計画しております区間の南側から用地買収を進めております。平成29年度末までに市子町内の用地買収を大方終え、今後は主に齊藤町の用地買収を進めていく予定です。	土木課